

## 海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

( データ集約 : 10/29 )

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約330m地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	平成24年10月28日 8時20分		平成24年10月28日 8時00分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	2.0	0.02	ND	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約0.50Bq/L、Cs-134が約1.1Bq/L、Cs-137が約1.5Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

## 海水核種分析結果 < 1/2 >

(データ集約：10/29)

採取場所 (地点番号)	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)(T-1)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に 約330m地点)(T-2)		/		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	平成24年6月25日 *	試料採取日	平成24年6月25日 *	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	/	/	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	/	/	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	/	/	90
H-3 (約12年)	ND	-	ND	-	/	/	60,000
全	ND	-	ND	-	/	/	-
全	ND	-	ND	-	/	/	-
Sr-89 (約51日)	ND	-	ND	-	/	/	300
Sr-90 (約29年)	0.11	0.00	0.41	0.01	/	/	30

\* I-131, Cs-134, Cs-137については, 6月11日採取, 6月12日公表。H-3, 全, 全 については, 6月11日採取, 10月3日公表。

炉規則告示濃度は, 「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は, それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は, 「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約0.51Bq/L, Cs-134が約1.2Bq/L, Cs-137が約1.6Bq/L, H-3が約3.1Bq/L, 全 が約0.12Bq/L, 全 が約27Bq/L, Sr-89が約0.2Bq/L。

ただし, 検出限界値は検出器や試料性状により異なるため, この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89・Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられるが, Sr-90の濃度は, 告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

## 海水核種分析結果 < 2/2 >

(データ集約：10/29)

採取場所 (地点番号)	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)(T-1)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に 約330m地点)(T-2)		/		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	平成24年7月19日 *	試料採取日	平成24年7月19日 *	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	/	/	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	/	/	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	/	/	90
H-3 (約12年)	ND	-	ND	-	/	/	60,000
全	ND	-	ND	-	/	/	-
全	ND	-	ND	-	/	/	-
Sr-89 (約51日)	ND	-	ND	-	/	/	300
Sr-90 (約29年)	5.7	0.19	0.90	0.03	/	/	30

\* I-131, Cs-134, Cs-137については, 7月9日採取, 7月10日公表。H-3, 全, 全 については, 7月9日採取, 10月3日公表。

炉規則告示濃度は, 「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は, それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は, 「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約0.51Bq/L, Cs-134が約1.3Bq/L, Cs-137が約1.6Bq/L, H-3が約3.1Bq/L, 全 が約0.12Bq/L, 全 が約28Bq/L, Sr-89が約0.6Bq/L。

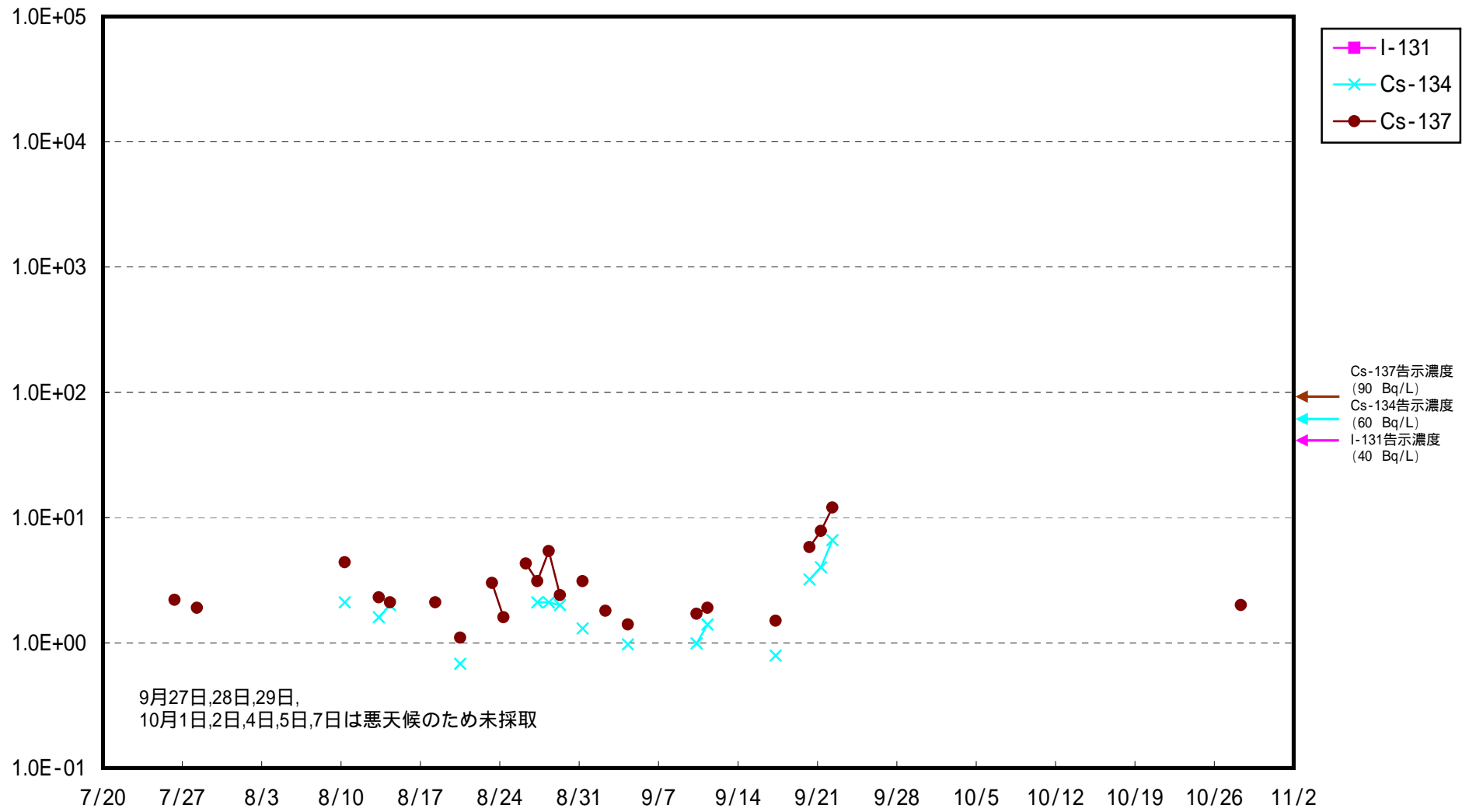
ただし, 検出限界値は検出器や試料性状により異なるため, この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89・Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられるが, Sr-90の濃度は, 告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 5,6号機放水口北側 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)

